

0歳～2歳までの標準的な接種スケジュール

ワクチン名	標準回数	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳	1歳1か月	1歳2か月	1歳3か月	1歳4か月	1歳5か月	1歳6か月	1歳7か月	1歳8か月	1歳9か月	1歳10か月	1歳11か月	備考
ヒブ 子どもを細菌性髄膜炎から守るワクチン 不活化	4回		①	②	③										④										初回接種月齢で接種間隔・回数が異なります。
小児用肺炎球菌 子どもを細菌性髄膜炎から守るワクチン 不活化	4回		①	②	③										④										初回接種月齢で接種間隔・回数が異なります。
四種混合 ジフテリア、百日せき、破傷風、不活化ポリオの混合ワクチン 不活化	4回			①	②	③															④				ジフテリア2期が小学校6年生時にあります。
BCG 乳幼児の結核の重症化を予防するワクチン 生	1回						①																		集団接種のため接種日時が指定(変更可)。ヒブ・肺炎球菌、四種混合を優先して接種がお勧め。1歳までに接種。
麻しん風しん混合 生	2回												①												1歳になったらすぐに接種しましょう。小学校就学前(年長児)に2期の接種があります。

※上記のスケジュールは、あくまでも標準的な接種スケジュールの例です。

※ほかの種類別のワクチンとの接種間隔は、不活化ワクチン接種後は1週間後の同じ曜日、生ワクチン接種後は4週間後の同じ曜日からです。

＜BCG(生ワクチン)と四種混合(不活化ワクチン)を接種するときの例＞

四種混合(不活化ワクチン)先に受ければ、1週間後にBCG(生ワクチン)が受けられます。

また、BCG(生ワクチン)を先に受けると、4週間後までは四種混合(不活化ワクチン)を接種できないことになり、両方の免疫を獲得するまでに時間がかかります。

※同じ種類のワクチンを複数回接種する場合は、ワクチンごとに推奨される接種間隔が決まっているため、そのスケジュールに沿って接種します。